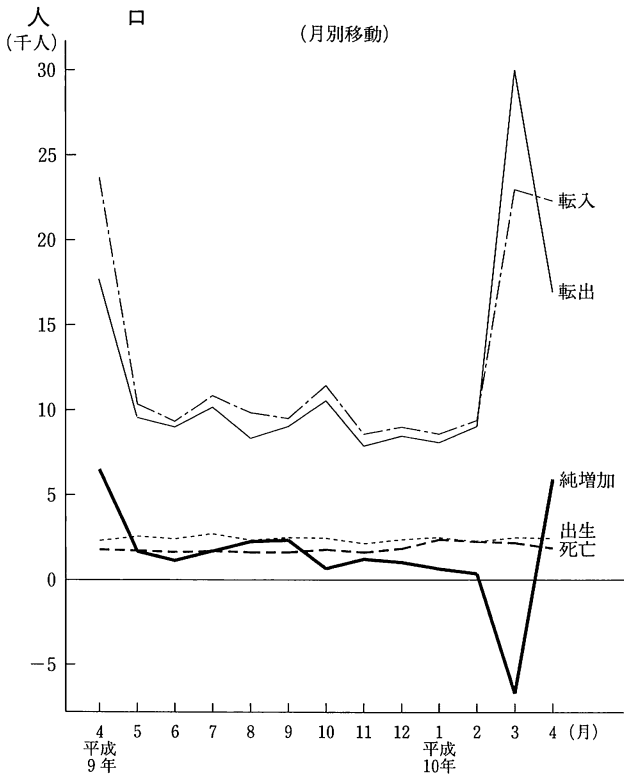
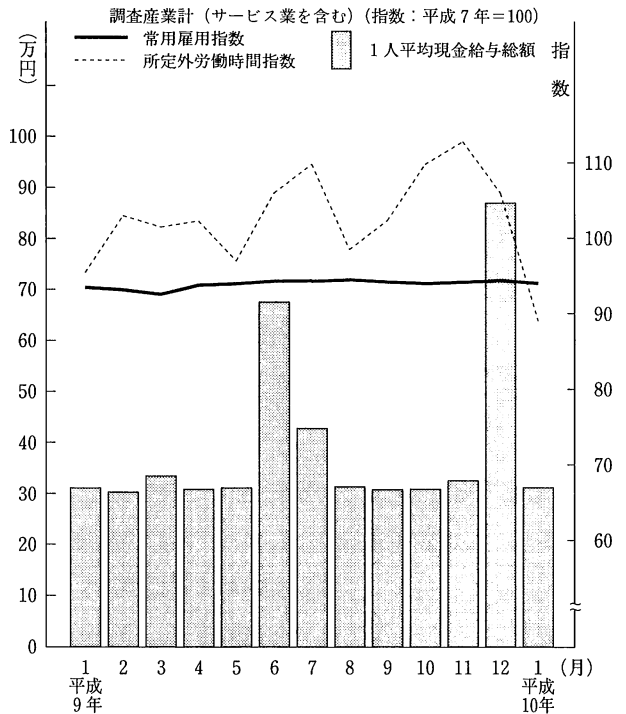


今月の主な動き



賃金・労働時間・雇用



■人口 (10年5月1日)

4月の概況

本県の人口は、4月中に5,929人増加し、5月1日現在で2,985,574人(男1,490,547人,女1,495,027人)となった。

内訳は、自然動態で584人(出生2,446人,死亡1,862人)増加し、社会動態で5,345人(転入22,290人,転出16,945人)増加した。前年同月と比べると12,116人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が18市37町村,減少が2市27町村,増減なしが1町である。

世帯数についても4月中に7,177世帯増加し965,789世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用 (10年1月)

1. 平均時間の推移

1月の現金給与総額は、調査産業計で311,342円,対前年同月比0.3%増,このうち,きままって支給する給与は298,602円,対前年同月比0.4%減であった。また,このうち,所定内給与は274,090円,対前年同月比0.9%増であり,超過労働給与は24,512円,対前年同月比3.3%減であった。

なお,物価上昇分を差し引いた実質賃金は,対前年同月比1.5%減であった。

2. 労働時間

1月の総実労働時間は,調査産業計で140.8時間,対前年同月比1.5%減であった。このうち,所定内労働時間は128.9時間,対前年同月比1.0%減,所定外労働時間は11.9時間,対前年同月比6.3%減であった。

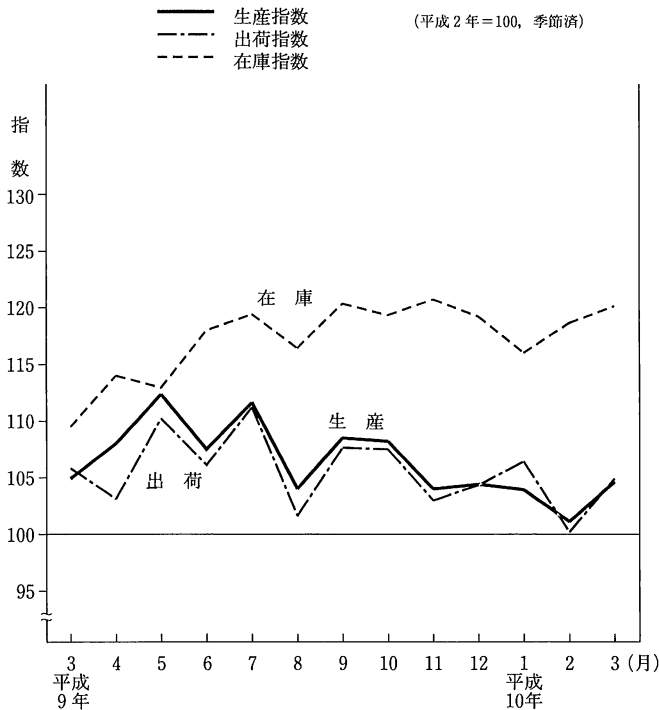
3. 雇用の動き

1月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比0.8%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお,事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

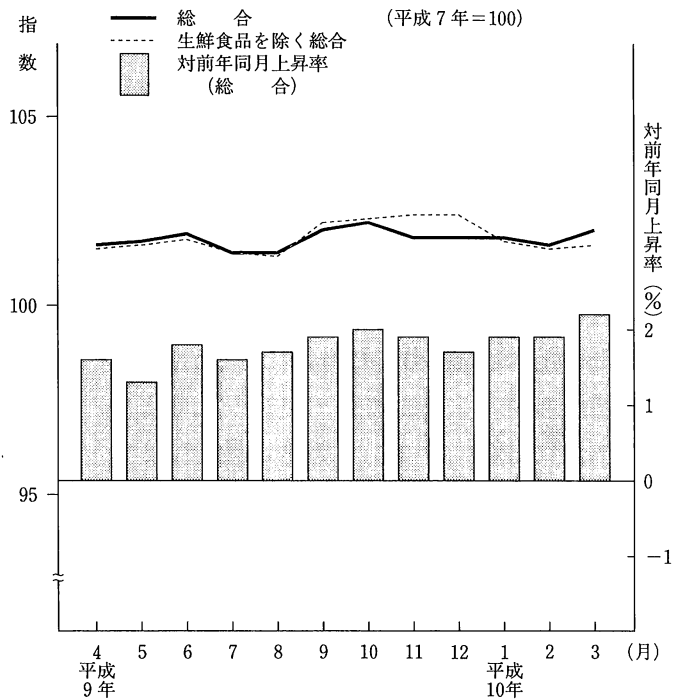


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（10年3月）

本県における平成10年3月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が104.6、出荷が104.9、在庫が120.1で、前月比は、生産が3.5%の上昇、出荷が4.7%の上昇、在庫が1.3%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が1.1%の低下、出荷が1.9%の低下、在庫が7.6%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、輸送機械工業、非鉄金属工業等が上昇し、鉄鋼業、窯業・土石製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。出荷では、精密機械工業、鉄鋼業、輸送機械工業等が上昇し、プラスチック製品工業、繊維工業、その他工業等が低下した。在庫では、鉱業、輸送機械工業、繊維工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、鉄鋼業、非鉄金属工業等が低下した。財別にみると、生産では、耐久消費財、その他用生産財等すべての財で上昇した。出荷では、耐久消費財、資本財等すべての財で上昇した。在庫では、耐久消費財、非耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、建設財が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（10年3月）

平成10年3月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で102.0(平成7年=100)となり、前月比0.4%の上昇、前年同月比2.2%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……衣料7.3%、果物6.1%、野菜・海藻3.2%

今月の下がった主な項目……シャツ・セーター・下着2.6%、肉類1.3%、教養娯楽耐久財1.7%

生鮮食品を除く総合は101.6となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比1.8%の上昇であった。

■ 費目別指数

(平成7年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	102.0	0.4	2.2	保健医療	112.7	△0.2	10.9
食 料	103.3	1.1	3.6	交通通信	98.8	△0.1	0.3
住 居	102.1	△0.2	0.2	教 育	106.3	0.0	2.9
光熱・水道	102.6	△0.1	1.4	教養娯楽	100.1	△0.1	3.9
家具・家事用品	96.6	△0.1	0.3	諸 雑 費	101.2	△0.4	2.4
被服及び履物	101.0	2.4	0.7	生鮮食品を除く総合	101.6	0.1	1.8